

Team Viewer
(チームビューアー)
ご利用方法

Team Viewer(画面共有ソフト) とは

リモートコントロール、ファイル転送、オンラインプレゼンテーションが可能なコミュニケーションソフトです

一つのPC画面を複数のPCで共有できる

各個人でPCを持ち寄った会議を行う際、同じ資料を見ていても、どのポイントを見ればよいのか分かりづらかったり、自分が会議を進行している場合は、見て欲しい資料のポイントを皆が確認できているか、不安になることはありませんか？ Team Viewerは1つのPC画面を複数のPCで共有できるコミュニケーションツールです。全員のPC画面上の動きが統一されますので、注目してもらいたいポイントを画面上で指し示すと、全員のPC画面上に反映されます。

離れた場所のPCを操作してファイルを転送できる

自宅や、会社に保存してあるデータが今すぐに必要！そんな時も遠隔操作で自宅や会社のPCにアクセスし、手元のPCにファイルを転送することができます。ファイアウォール内部でも機能します。

操作中のセキュリティも安心です

すべてのバージョンに、httpsやSSLで使用されているのと同じセキュリティ標準である鍵交換とAES(256ビット)セッションエンコーディングを行う安全なデータチャンネルが装備されています。また、PCにアクセスするパスワードは毎回変わりますので、接続を解除した後に勝手に外部から接続されることはありません。

共有画面の切り替えも簡単

画面を共有している人同士で、別の画面の共有に切り替えることも簡単です。

共有中の画面の録画が可能

操作中画面は録画もできます。PC操作に関するレクチャーやトラブル解消の為の遠隔操作は、録画しておくと後から見直すこともできて便利です。

チャット機能も付属

接続しながらチャットも可能です。遠隔地同士での操作の場合はチャットを使いながら操作することができます。

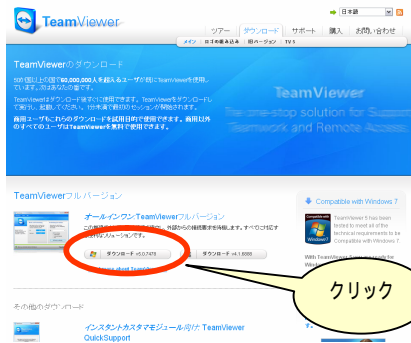
Team Viewer(画面共有ソフト) とは



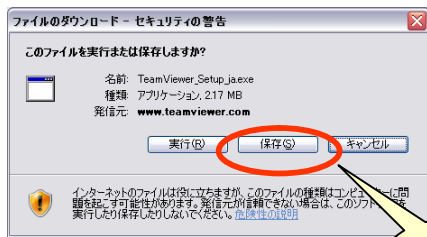
Team Viewerホームページを開く。
Address : <http://www.teamviewer.com/ja/index.aspx>
ソフトのダウンロードページへのリンクをクリック。

完全インストールの場合

オールインワン Team Viewer フルバージョンのダウンロードボタンをクリック。



「保存」をクリック



保存場所に「デスクトップ」を選んで
(任意の場所)に保存します。

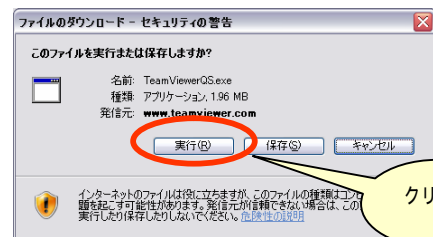
ワンタイム インストールの場合

インストールせず、一度だけ操作される側として利用する場合

インスタントカスタムモジュール向けの
ダウンロードボタンをクリック。



「実行」をクリック



IDとパスワード画面が表示されますので、
操作する側に伝える。



操作する側にあなたの
画面が映し出されます。

利用スタート

Team Viewer(画面共有ソフト) インストール方法

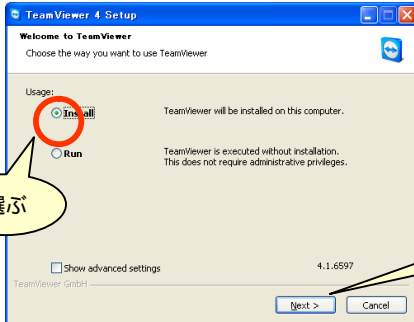
Team Viewer(画面共有ソフト) 利用手順

ダウンロードしたファイルをダブルクリック



クリック

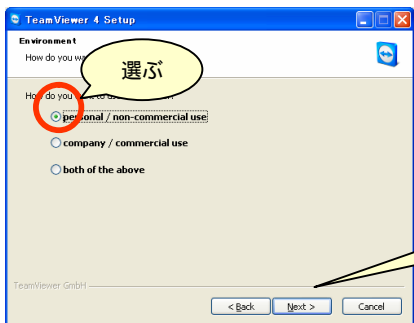
「Install」を選んで「Next」をクリック。



選ぶ

クリック

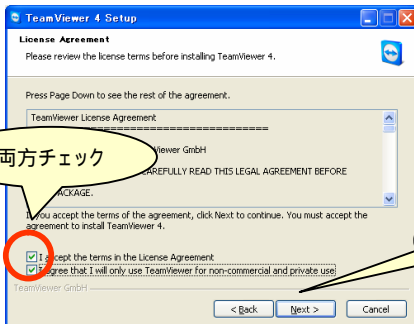
「Personal/non-commercial use」を選んで「Next」をクリック。



選ぶ

クリック

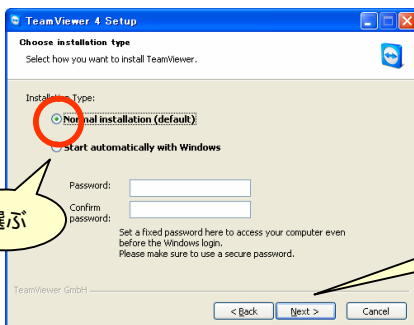
チェックボックスの両方にチェックを入れて、「Next」をクリック。



両方チェック

クリック

「Normal installation(default)」を選んで、「Next」をクリック。

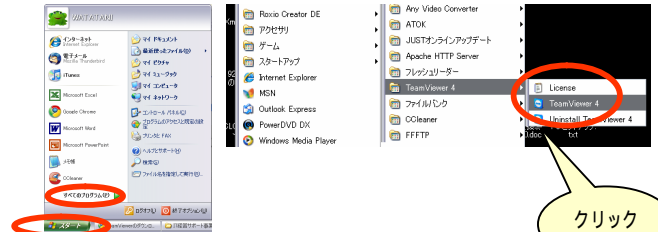


選ぶ

クリック

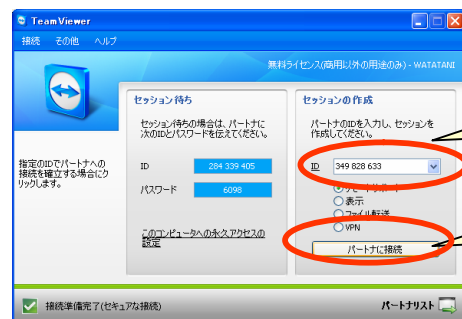
インストール終了。デスクトップにダウンロードしたプログラムは削除してかまいません。

スタートメニューの「すべてのプログラム」から「TeamViewer 4」をクリックする。



クリック

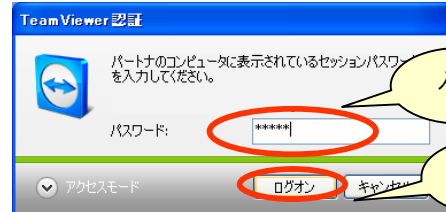
画面が立ちあがったら、
A:自分が相手の画面を見る側 相手側のIDを入力し、「パートナーに接続」をクリック。



入力

クリック

相手側のパスワードを入力。「ログオン」をクリック。

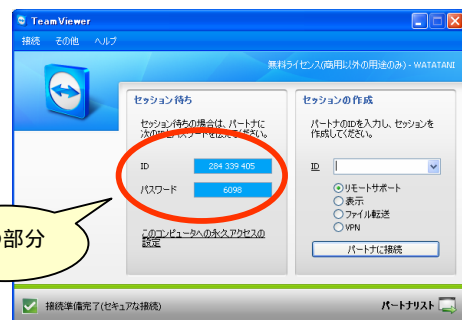


入力

クリック

接続完了。

画面が立ちあがったら、
B:自分が画面を見られる側 ブルーの色がついた自分のIDとパスワードを相手に教える。



この部分

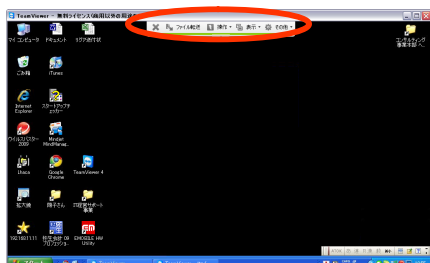
相手が接続できれば完了。

Team Viewer(画面共有ソフト) 操作

パートナーと役割を交換

この操作で、簡単に見る側・見られる側を交代することができます。

パートナーの画面上部に表示バーがでできます。



「操作」を選び、「パートナーとの役割交換」をクリック

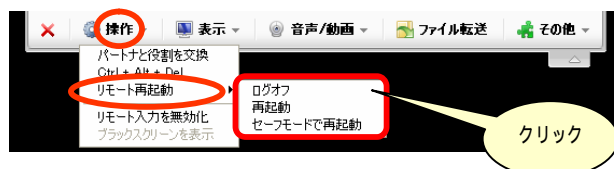


交換完了。

リモート再起動(ログオフ・再起動・セーフモードで再起動)

この操作で、パートナー側PCのログオフ・再起動操作が可能です。

表示バーより「操作」を選び、「リモート再起動」をクリック。
ログオフ / 再起動 / セーフモードで再起動をクリック。

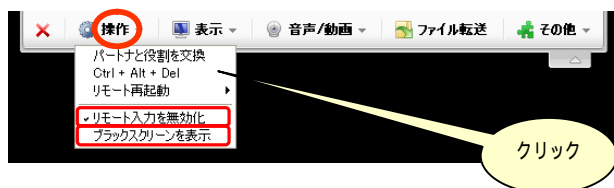


パートナーのPCが、ログオフ 又は、再起動になります。

リモート入力を無効化 / ブラックスクリーンを表示

リモート入力を無効化・・・パートナー側での操作が無効
ブラックスクリーンを表示・・・パートナーの表示がブラックスクリーンに切り替わる

表示バーより「操作」を選び、「リモート入力を無効化」又は、「ブラックスクリーンを表示」をクリック



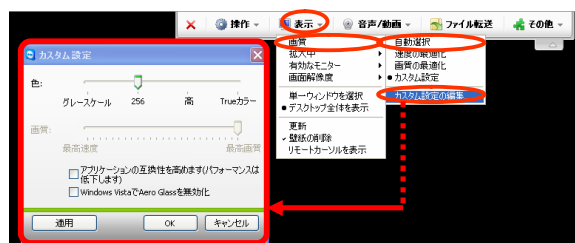
有効となっている場合は、前にチェックが入ります。

Team Viewer(画面共有ソフト) 表示

画質

ネットワーク接続に合わせて画質と速度を最適化できます。

「表示」を選び、「画質」の「自動選択」をクリック
「カスタム選択」をクリック 「カスタム編集」が表示される。



拡大中

オリジナル / 拡大 / 全画面 で表示される画面を切り替え

有効なモニター

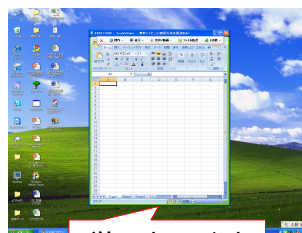
2つのモニターを併設している場合の画面切り替え
「すべてのモニターを表示」で切り替わる

画面解像度

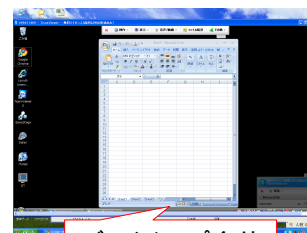
640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 800で解像度を切り替え

単一ウィンドウを選択 デスクトップ全体を表示

パートナー側で表示されているアプリケーションのみか、
デスクトップ全体の表示かを選択できる。



単一ウィンドウ



デスクトップ全体

更新

情報や表示を更新

壁紙の削除

パートナー側で使用している壁紙を黒画面に切り替え
(パートナー側の画面が切り替わります)

リモートカーソルを表示

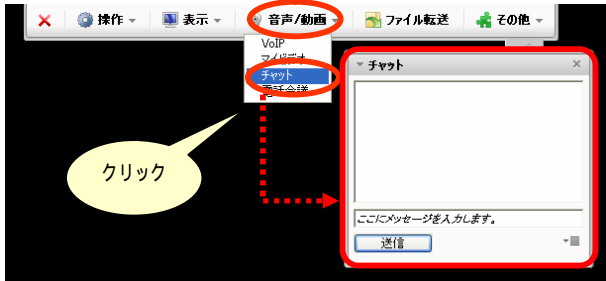
パートナー側のカーソルをメイン画面でも表示する

Team Viewer(画面共有ソフト) 音声 / 動画

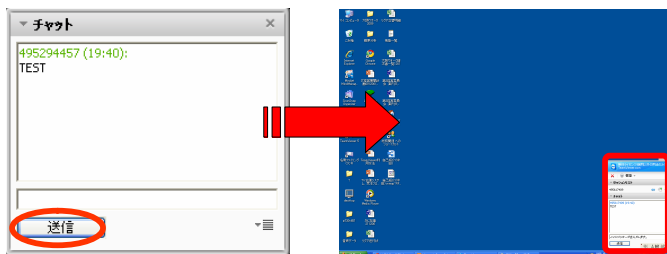
チャット

パートナーとチャットを通じて、情報交換ができます。

「音声 / 動画」を選び、「チャット」をクリック



メッセージを入力し「送信」をクリック 上画面に表示される

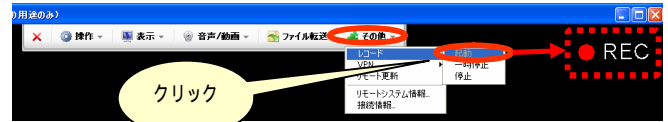


Team Viewer(画面共有ソフト) その他

レコード

Team Viewer上で操作した内容を録画できます。

「その他」を選び、「リモート」の「起動」をクリック
右上に“ REC”が点灯 操作を録画中



「その他」を選び、「リモート」の「停止」で録画終了
保存先を選択、名前をつけて保存

VPN

= 操作 確認中 =

リモート更新

Team Viewerのバージョンを確認 最新のバージョンに更新

リモートシステム情報

パートナーのPC情報が表示される

接続情報

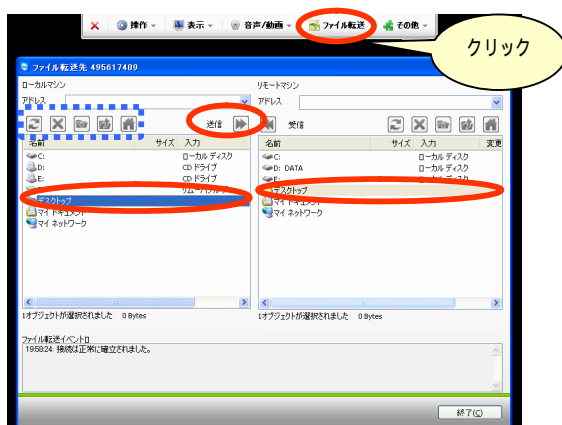
アクセス制御や通信情報が表示される

Team Viewer(画面共有ソフト) ファイル転送

リモートパートナーとの間でファイルやフォルダのコピー・転送も可能。ファイアウォールの内部でも機能します。

(ローカルマシン リモートマシン)

「ファイル転送」をクリック 「ファイル転送先」が開く
ローカルマシン側の送りたいファイルの保存先を選択
リモートマシン側での保存先を選択
送信ボタンをクリック



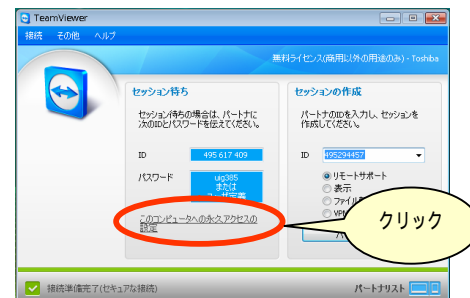
- ファイルリストを更新
- 選択オブジェクトの削除
- 新しいフォルダの作成
- 親フォルダに移動
- ドライブに移動

Team Viewer(画面共有ソフト) 設定

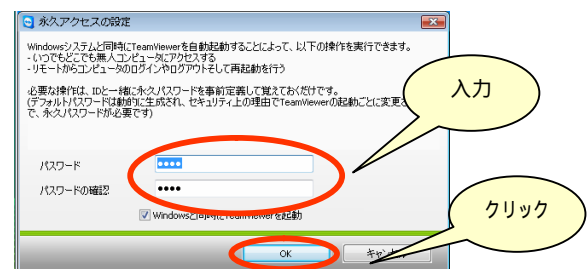
永久アクセスの設定

接続時のPWを固定化することができます。
接続先のPCの電源がONで、インターネットに接続できていれば、Team Viewerの接続が可能になります。

スタート画面 「永久アクセスの設定」をクリック



希望のPWを入力 「OK」をクリック



設定完了。

出先から別の場所のパソコンを操作したい

Q

外出先から自宅や職場にあるパソコンを直接操作して、ファイルを転送したり、アプリケーションソフトを実行したりする方法を教えてください。

A

離れた場所にあるパソコンを操作するには、リモート接続ソフトを使います。インターネット経由でアクセスして、手元のパソコン上に接続先のデスクトップ画面を表示、操作できるものです。アプリケーションソフトを直接実行できるため、手元のパソコンに利用したいソフトが入っていない場合などに便利です。

Windows 7には「リモートデスクトップ」というリモート操作機能があります。しかし、接続先のパソコンで利用するWindows 7のエディションが「Professional」「Ultimate」「Enterprise」のいずれかである必要があります。

代表的なリモート接続ソフトに

「TeamViewer」(TeamViewer) があります。市販ソフトですが、個人の非商用利用なら無料で使えます。Windowsだけでなく、OS X (Mac) やUbuntuなど他のOSとの接続にも対応しています。また、スマートフォン用アプリもあります。

ソフトはTeamViewerのWebページからダウンロードします (<http://www.teamviewer.com/ja/index.aspx>)。入手したファイルを実行すると、インストールに進みます。接続先となるパソコンでは「インストール」を、出先に持ち歩くパソコンでは「実行」を選ぶとよいでしょう。ここで「実行」を選べば、インストールせずにソフトが起動します。

接続先のパソコンは、起動して

TeamViewerを立ち上げたままにしておきます。このパソコンでTeamViewerを立ち上げると、使用中のIDとパスワードが表示されるので、メモを取っておきます。

外出先から接続する際は、持ち歩いているパソコンでTeamViewerを起動し「リモートコンピュータの操作」とある欄に接続したいパソコンのIDを入力します。その後、認証ウインドウが現れたら、パスワードを入力します(図1)。

接続に成功すると、TeamViewerのウインドウ内に接続先のパソコンのデスクトップ画面が表示されます(図2)。この画面からアプリケーションの実行、ファイル閲覧等を行います。TeamViewerには、接続先のパソコンにあるファイルを簡単に転送できる「ファイル転送」があります(図3)。FTPソフトを使う感覚で高速に転送でき便利です。

●接続画面にIDを入力する

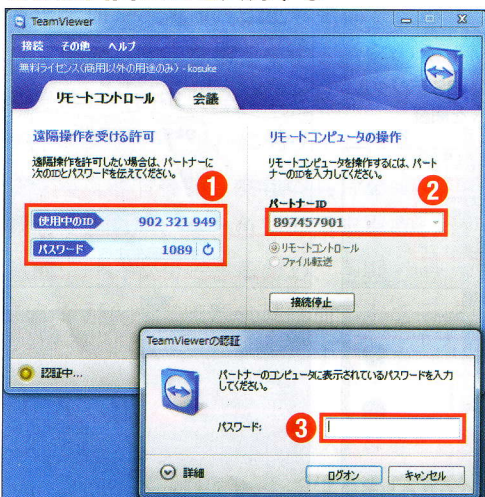
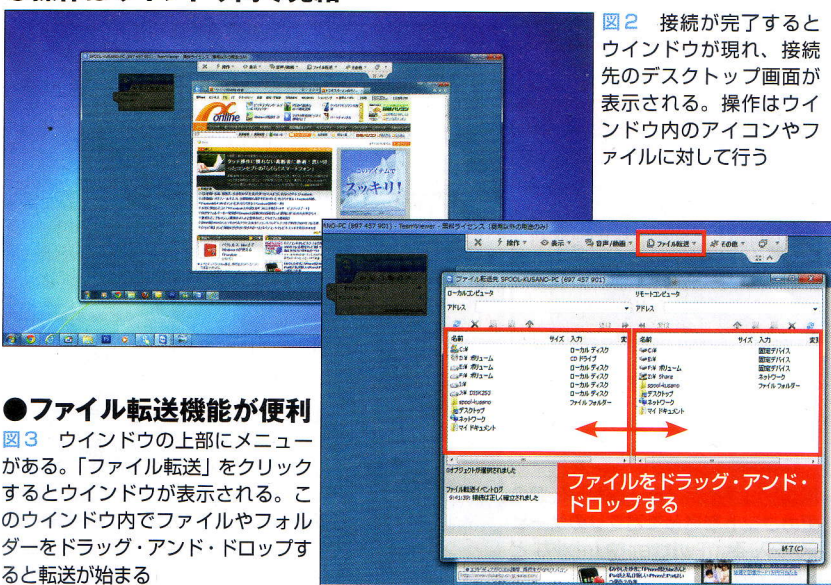


図1 (1) 使用中のパソコンの情報。リモート接続する場合に必要、(2) 接続したいパソコンのIDを入力、(3) 接続したいパソコンのパスワードを入力

●操作はウインドウ内で完結



●ファイル転送機能が便利

図3 ウインドウの上部にメニューがある。「ファイル転送」をクリックするとウインドウが表示される。このウインドウ内でファイルやフォルダーをドラッグ・アンド・ドロップすると転送が始まる

図2 接続が完了するとウインドウが現れ、接続先のデスクトップ画面が表示される。操作はウインドウ内のアイコンやファイルに対して行う